

《短報》

下関市千鳥浜で採取されたミドリシャミセンガイ

久志本鉄平

下関市立しものせき水族館. 〒750-0036 下関市あるかぼーと6番1号

はじめに

ミドリシャミセンガイ *Lingula anatine* Lamarck, 1801 は腕足動物門舌殻綱シャミセンガイ目シャミセンガイ科に属し、シャミセンガイ目は先カンブリア紀に起源を持つ、生きた化石として知られている(馬渡, 1997). 日本近海からはミドリシャミセンガイ, ウスバシャミセンガイ *L. reevii* Davidson, 1880, ドングリシャミセンガイ *L. rostrum* Shaw, 1798, オオシャミセンガイ *L. adamsi* Dall, 1873 の4種が記録されている(倉持ほか, 2001). ミドリシャミセンガイは浜名湖, 伊勢湾, 周防灘, 有明海, 八代海, 奄美大島, 沖縄などで確認されている(倉持, 1999; 小澤ほか, 2001; 環境省, 2007). 現在, 各県のレッドデータブックを見ると, 本種は岡山県, 愛媛県, 熊本県, 長崎県では絶滅危惧I類に指定され, 福岡県, 佐賀県でも準絶滅危惧種に指定され, 各県で絶滅の危機が危惧されている. 山口県内の分布は榎野川河口周辺の山口湾や秋穂湾に限られ(環境省, 2007), その他からは記録がない.

本種は全国各地で絶滅の危機に瀕しており, 出現の記録を残すことは重要と考えられ, 今回, 木屋川河口に広がる干潟千鳥浜で生息を確認したので報告する.

採取記録

本種は2015年3月7日に山口県下関市木屋川河口干潟(千鳥浜)(図1)で採取された. 標本の殻長は35.78mm(採取時破損したため修復し計測), 殻幅は16.30mmであった(図2). 本標本の採取地点は潮間帯

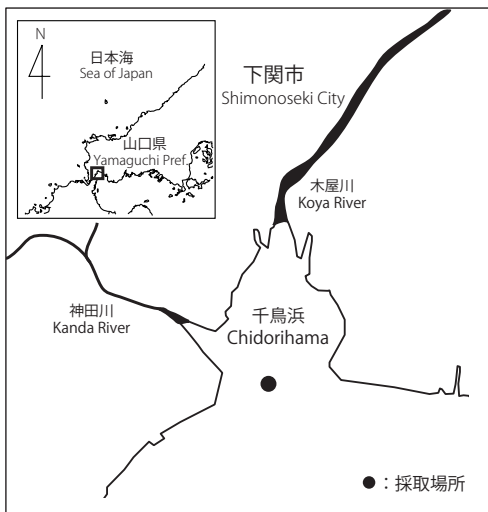


図1. 採取地点



図2. 採取したミドリシャミセンガイ  
※スケールは1cm

の砂泥質であり、同所ではバカガイ科のシオフキガイ *Mactra veneriformis* Reeve, 1854, マルスダレガイ科のハマグリ *Meretrix lusoria* (Roeding, 1798) などの二枚貝も確認した。なお、本種を採取した場所周辺を調査したが、追加個体を得ることはできなかった。他に採取できなかったことから、偶発的な分布もしくは今回の採取地点より沖合の潮下帯に分布しているのかもしれない。

今後さらに調査することで明らかになると考えられる。

#### 引用文献

- 馬渡駿輔 (1997) 「筍虫動物と腕足動物 日本動物大百科 第7巻 無脊椎動物」:164-165p., 平凡社, 東京.
- 環境省自然環境局 (2007) 第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査 (干潟調査) 報告書.
- 倉持卓司 (1999) 日本周辺海域産現生腕足類目録. 南紀生物, **41**: 155-158.
- 倉持卓司・木村キヲ・藤本和恵 (2001) 日本周辺海域産シャミセンガイ属の再検討. 南紀生物, **43**: 112-116.
- 小澤宏之・山本拓良・名和純 (2001) 沖縄島で採取されたミドリシャミセンガイ *Lingula anatine* (LAMARCK, 1801). 南紀生物, **43**: 167-168.